森たける後援会
入会のお願い

① 後援会とは？

『森たける後援会』は、よりよい地域づくりに向け、森たけるの政治活動を応援する会です。活動報告や最新情報を受け取りながら、地域の課題やご意見を届けていただく、身近なつながりの場でもあります。

■後援会規約（抜粋）
第2条（目的）
本会は、市政の発展と市民生活の向上を目指し、森たけるの政治活動を後援するとともに、会員相互の親睦を深めることを目的とする。

＊後援会への入会は無料で、会費のご負担はありません。
＊ご入力いただいた個人情報は、会の政治活動の目的の範囲内でのみ使用します。それ以外の第三者への提供はいたしません。

② 入会方法

1. QRコードを読み取る
2. フォームにお名前・ご住所・ご連絡先などを入力
3. 送付して申込み完了

③ 後援会の役員紹介

会長：金子　和弘
顧問：半田　明夫（元さくら市教育長）

④ 顧問からの推薦メッセージ



長年地域に関わる中で、まちを支えていくためには、現場の声に耳を傾け、課題に一つひとつ向き合う姿勢が何より大切だと感じてきました。森たけるさんは、行政や地域活動で培った経験を生かしながら、自ら考え、行動しようとしています。その誠実な姿勢と、これからの政治活動に期待しています。

半田　明夫

森たける後援会
〒329-1404 栃木県さくら市鹿子畑 989
080-5839-3648
mori.takeru.kouennkai@gmail.com

政治家を志したきっかけ

大学生時代、政権交代や母校の小学校の廃校を経験したことをきっかけに、政治や行政、そして地域の将来について強く意識するようになりました。

「地元で地域に貢献したい」という思いから、さくら市役所に入庁。13年間、さまざまな部署で仕事に携わり、行政の仕組みや地域が抱える課題について学んできました。

一方、市民の皆様の声に向き合う中で、その声を行政へ届け、具体的な改善につなげていくためには、制度や立場による役割の違いから、職員という立場だけでは難しいことがあることも実感しました。

市役所での経験に加え、消防団活動や地域での子育てを通じて地域との関わりを深め、現在は都市計画コンサルティング会社で、まちづくりに関わる民間の視点や考え方を学んでいます。

こうした経験を重ねる中で、行政と民間、それぞれの立場で培った経験を活かし、市民の皆様の声を行政につなぎ、より良いまちづくりにつなげていきたいという思いが、次第に強くなりました。

地域に寄り添い、“市民と行政をつなぐ架け橋”となれるよう、一人ひとりの声に真摯に耳を傾け、地域の課題と向き合いながら、さくら市の発展に全力で取り組んでまいります。



『この人がいてくれてよかった。』
そう思っていただける
政治活動を目指して。



さくら市の未来のために、
地域とともに歩みます！

さくら市生まれ
さくら市育ち

新人　無所属
2児の父
37歳

森たける

討議資料

森たける後援会

3つの重点取組

地域の声を市政へ、そして未来へつなぐ

**さくら市の明るい未来のために、地域の声を大切にし、
市民の皆さまとともに考え、行動する政治活動を行ってまいります。**

1 現場主義で、迅速・的確に動く

行政職員として13年間、市民の皆さまに近い場所で仕事に携わってきました。その経験と行政の仕組みに対する理解を活かし、地域の声を丁寧に伺い、行政との橋渡し役として、スピード感を持って課題解決に取り組みます。

重点ポイント

- ☑ 地域の声を聴く「御用聞き役」
- ☑ 行政経験を活かした行動力
- ☑ 地域と行政を“つなぐ”架け橋として

主な取組

- 道路・カーブミラーなど生活インフラの改善要望を迅速に行政へつなぐ
- 地域からの相談を行政へつなぐ
- 消防団経験を活かした災害に強い地域づくり

私の取組の考え方

地域の声を出発点に、課題を一つひとつ調査・研究し、対話を重ねながら、実現可能な提案につなげていくことを大切にします。

実現性の裏付けのない約束を並べるのではなく、地域の実情や制度、財政などを踏まえ、「何が必要か」「どうすれば実現できるか」を考え、改善につなげていきます。

このリーフレットでは、重点的に取り組む「方向性」と「主な取組例」を示しています。個別課題への考え方や具体的な提案、取組状況は、SNS・ブログ等で随時発信していきます。



リーフレットに載せること

- 目指す方向性
- 3つの重点取組
- 主な取組例

→

SNS・ブログで詳しく発信

- 個別課題への考え方
- 具体的な提案
- 取組状況の更新

2 開かれた議会と情報発信の強化

議会や行政の仕組みを分かりやすく伝え、緊張感と透明性のある議会づくりに取り組みます。議員活動をSNSや後援会報などで積極的に発信します。

重点ポイント

- ☑ SNS・後援会報などで情報発信
- ☑ 議員活動の見える化
- ☑ 開かれた議会づくり

主な取組例

- 議会での質問内容や活動報告を定期的にSNS・後援会報で公開
- 議員活動の見える化（出席状況・活動内容等）の推進
- 多様な世代が参加しやすい意見交換会・タウンミーティングの開催を提案

3 未来につながる持続可能なまちづくり

人口減少が進む中、将来にわたり地域の活力と行政サービスを維持するためには、子どもから高齢者まで、多くの世代に「住みたい」「住み続けたい」と思われるまちづくりが必要です。子育て支援に加え、企業誘致や雇用の創出、地域産業やコミュニティを支える担い手の確保など、地域で暮らし、働き続けられる環境づくりに取り組みます。すべての世代が安心して暮らし、未来に希望を持てる持続可能なまちを目指します。

重点ポイント

- ☑ 子育て支援の充実と次世代の育成
- ☑ 地域産業（農業・商工業）やコミュニティの活性化
- ☑ すべての世代が安心して暮らせる持続可能なまちへ

主な取組例

- 子育てにかかる負担軽減策や、公園・遊び場・子どもの居場所づくりの充実に関する研究・提案
- 企業誘致や雇用の創出、地域産業（農業・商工業）の狙い手確保や地元事業者支援に向けた取組の推進
- 高齢者の買い物・移動支援など日常生活支援の充実を提案

— 私が目指す姿 —

行政及び民間企業で培った「実行力」。
地域活動で育んだ「人とのつながり」。
次世代へつなぐ「未来への責任感」。

これらを大切にしながら、市民の皆さまの声に耳を傾け、
地域課題の解決に向けて行動してまいります。
一人ひとりに寄り添い、地域とともに歩み、

「この人がいてくれてよかった。」

そう思っていただける政治活動を目指します。



プロフィール

1988（昭和63年）11月生まれ（37歳）

旧喜連川町鹿子畑出身。2児の父

越味：インディアカやバレーボールなど、体を動かすこと。
その他スポーツの観戦も好きです。

学歴

- 旧金鹿小学校卒業（2001.3）
- 喜連川中学校卒業（2004.3）
- 大田原高校卒業（2007.3）
- 麻布大学 獣医学部卒業（2011.3）

キャリア

- さくら市役所（2011.4〜2024.3［13年間勤務］）
  - 児童課（現こども政策課）／生活環境課
    総合政策課 政策推進室／財政課 デジタル戦略室
  - 市民サービス及び行政運営に従事
- 現在（2025.4〜）都市計画コンサルティング会社勤務
  - まちづくり業務に従事

地域活動

- さくら市消防団（2011.4〜現在）
  - 地域防災活動に継続して従事
  - 第8分団分団長（2025・2026年度）
- 認定こども園きつれ川幼稚園保護者会長（2024年度）
- 喜連川商工会所属（2026年度）